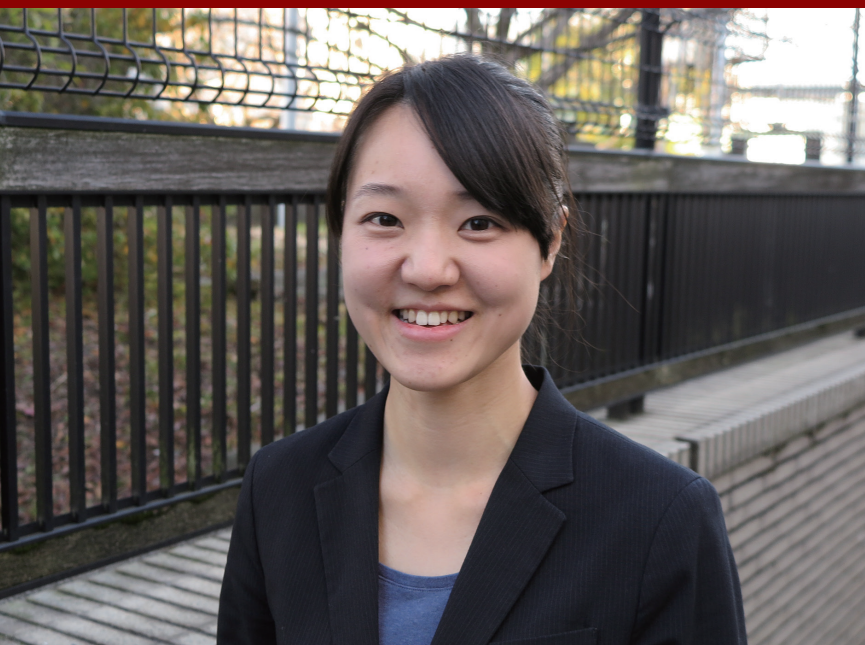




誇りと責任を持って 仕事ができる

伊藤 小織 Ito Saori

税務職員

平成23年採用

富士税務署 管理運営部門

Q. 志望動機と現在の仕事内容は？

税務署の仕事について、詳しい内容は知りませんでしたが、パンフレットを見て「面白そう」と思った直感を信じました。また、面接試験時の面接官から「誇りと責任を持って仕事をしている。」と聞きましたので、そのように思える人がいる職場で働きたいと思い、税務職員を志しました。

現在の主な仕事は、個人事業者の申告所得税等の入力事務と納税相談です。入力事務では、決められた手順に従い、いかに効率よく迅速に処理できるかを考えます。納税相談への対応では、関係する法律の範囲が広く制度も多いので、先輩等から一度教えてもらったことは、可能な限りその時に覚えるように心掛けています。



Q. 働いて感じた仕事の魅力は？

大きくいえば“税務”という一つの仕事ですが、配属先により仕事の内容ややり方は当然に違うので、そこが面白いです。自分の仕事内容に合った感覚（勘）を身に付け、必要とする法律の知識を得て理解する度に、自分の身になっていく感じがやりがいにつながります。

また、福利厚生も整っていますから、性別に関係なく活躍できます。



Q. 職場の雰囲気、休日の過ごし方は？

上司・先輩方はとても優しく、仕事に役立つことは積極的にアドバイスしてくれます。個々の不得手なところは職員同士が互いに補うので、一丸となって仕事に集中しやすい環境だと思います。

また、プライベートでは、ライブや習い事に行くことが多いです。好きなことを通じて多くの人と知り合うことができ、気分転換になるほか、他の業種の方から話を聞くことで、自分の視野も広がります。



メッセージ Message

自ら事業を行っているかどうかに関わらず、税金は身近にあるものです。その反面、多くの法律や制度があり、特に馴染みのない方には分かりづらいと思われることも少なくありません。税務職員はそういった方の手助けができますし、調査・徴収事務は、他の職場ではなかなか経験できません。

「この仕事をしてみたい」と思えたら、それだけで挑戦する意味はあると思います。自分を信じて頑張ってください。